



各学部等の環境に関する取り組み① (教育学部 地域科学部)

環境対策室長

理事・横山 正樹

E-mail gifa01003@jim.gifu-u.ac.jp

教育学部

<教育学部の環境に対する取り組み>

教育・研究・社会活動を通じた生物多様性の保全とその啓蒙活動 理科教育講座・生物学研究室 古屋康則(教授)・三宅崇(准教授)・須山知香(准教授)

【概要】教育学部・生物学研究室では、野外実習を重視した教育・フィールド調査に重点をおいた研究・岐阜県や周辺自治体への協力を通じて、生物多様性保全の重要性を再認識し、得られた知見の普及・啓蒙活動に力を入れています。平成25-26年度の取り組みには以下のようなものがあります。

【教育活動】

- 全共科目「岐阜県の生物の分布と生態」:身近な自然環境に見られる生物間の関わり合い・移入種問題・無秩序放流の問題・長良川の環境変化による生物多様性の低下、など実例を交えて解説(古屋・三宅・須山)
- 学部科目「野外実習」:北アルプス双六岳周辺での3泊4日の登山実習。高山植物など多様な生物相を観察し、守るべき自然環境を実感(古屋・三宅・須山)
- 学部科目「生物学特論」:郡上市石徹白地区にて山菜キャンプ(山菜採取と調理の1泊キャンプ)を実施。岐阜県の自然にふれあう機会(古屋・三宅・須山)
- 学部科目「植物生態学概論」:キャンパス内の樹木を継続観察しブログ「私の樹」にまとめる。環境の時間的変化とそれに応じた生物の変化を観察する力を育成(三宅)
- 学部科目「植物形態学および実験」:野外活動で地域の植物を観察。外来植物の種類と影響について解説。長良川河川敷での外来植物および貴重種の調査(須山:平成26年度岐阜大学COC「地域志向プロジェクト」)



学部科目「野外実習」での双六岳登山は2年生最大の行事



学部科目「植物形態学」で長良川河川敷の植生を調査



学部科目「植物生態学概論」でのブログ「私の樹」より抜粋



豊橋市にある葦毛湿原での植生回復実験

【研究活動】

- 淡水棲のカジカ類を対象に、無秩序な放流による遺伝的攪乱がその種の繁殖に及ぼす影響について調査・研究中(古屋:岐阜県水産研究所との共同研究)
- マツバサ科植物を対象に、植物とそれに送粉寄生(花粉運搬し、幼虫がその植物を食べて育つ)する昆虫の相互作用について研究中(三宅)
- ナデシコ科植物において、植食性昆虫との生物間相互作用が、繁殖システムに及ぼす影響について研究中(三宅)
- 教育学部附属植物標本庫に収蔵された標本資料を活用することで、岐阜県植物研究会・岐阜県植物誌調査会の会員が行う自然基礎調査研究に協力(須山)



中津川市の自然環境調査にて



「山菜キャンプ」で採った山菜を仕付けてます



移動性に乏しいカジカ類は河川水系間で遺伝的にどれくらい違うのだろうか?

【社会貢献】

- 岐阜県自然環境保全審議会 自然保護部会委員(古屋)
- 岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会委員(古屋・須山)
- 岐阜県小中学校教育研究会 環境教育研究部会 講師(古屋)
- 岐阜県高等学校教育研究会生物部会顧問(三宅)
- 中津川市の自然環境保全政策への助言・自然環境団体等連絡会議の講師(須山)
- 豊橋市文化財保護審議会委員として葦毛湿原保護の実地指導等協力(須山)

地域科学部

項目	環境に対する取り組み ※平成25年度(抜粋)
教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境負荷の少ない交通を実現するための社会システムと政策上の課題を、授業の中で紹介している。 2. 「地域研究入門」の中で「サステナビリティと経済学が果たす役割」の講義を行い、環境政策の役割やその効果、環境経営と企業の取組み、家計における環境への配慮などについて考察を行った。 3. 「科学論」、「科学思想論」などの講義で環境問題に触れた。 4. 「社会活動演習」で、学生と小中学生向け環境教育団体(こどもエコクラブ登録の「生き物クラブ・天神川」「花と野菜のエコクラブ」「自然の仲間」と)の交流を図った。 5. 「専門セミナー」で、環境問題に関する判例を扱う。 6. 「専門セミナー」、「基礎セミナー」において、報告者がレジュメを準備する際に、環境に配慮した印刷、コピーを心掛けるよう指導する。 7. 「地域研究入門」で環境問題テーマを担当し、「環境保全論II」、「岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人」の講義を行った。 8. 「専門セミナー」で「都市環境学特論」において、ヒートアイランド現象の形成メカニズムやその影響、緩和対策等について講義した。 9. 「日本文化論」において、日本の近代化・文明化を論ずるなかで、環境問題(足尾鉬毒問題、等)に触れた。
研究	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと自然学会会長として、学会大会(二回、専修大学付属高校、京都橘大学)、若手ゼミ(岐阜大学位山演習林)の開催に携わった。若手ゼミは、実行委員会委員長を務めた。 2. 絶滅危惧種の保全に関する研究を行った。 3. 外来種に関する研究を行った。 4. 岐阜市域を対象とした温度の長期多点同時測定を行いデータの拡充を図るとともに、熱環境の実態について精査した。 5. CO₂排出量を指標として、岐阜市の最適な都市形態について検討した。
社会連携	<ol style="list-style-type: none"> 1. NPO岐阜環境カウンセラー協議会委員(22.5.12.~26.3.31) 委員会は学識経験者、県、市、NPO団体、県中小企業団体中央会等の方々10名程で構成され、主にエコアクション21地域事務局ぎふの運営に関する議論を行う。 2. 岐阜市環境審議会委員(23.1.1.~26.12.31) 岐阜市におけるごみ減量・資源化の具体的施策に関する計画をはじめ環境基本計画に関する目標の点検やその評価等に関する議論を行う。 3. 「生き物クラブ・天神川」「花と野菜のエコクラブ」「自然の仲間」を催しているNPO法人「長良・くらしと自然楽校」の副理事長を務め、これらの活動の指導を行った。生き物クラブは毎月第2土曜日、花と野菜は、毎月第1土曜日、自然の仲間は、年間5回(4回は、岐阜県森林環境税からの補助金によるバスハイイクで、内海、桑名の人工干潟、ひるがの高原、白川町に行き、海と川、森林のつながりの教育を行った。) 子どもと自然学会会長を務めた。科学教育研究協議会委員。 4. 中津川市自然環境団体等連絡会議委員、岐阜市自然環境基礎調査魚類部会長・甲殻類部会長、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会委員。